

まなび

発行 松永地域振興課編集室
住所 福山市松永町三丁目1番29号
電話 084-934-5443
FAX 084-934-8251
メール matsunaga-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



「広聴・連携・協働」の推進をめざします

松永地域振興課 課長 船岡 孝志

四月から松永地域振興課長となりました船岡です。福山市立大学事務局から(「卒業」ではなく)異動して参りました。これまでの業務から学んだことを

活かし、幅広い多くの

方々のご意見をお聴き

して、地域の課題解決

や魅力づくりに向けた

連携や協働の取り組み

を進めて参ります。

何卒よろしくお願

いいたします。



課名が変わりました 松永生涯学習センターから 松永地域振興課になりました

業務の移動のお知らせ

- *貸室業務 (市民ホール含む) ⇒ 市民サービス課 (1階=5月中旬から)
- 松永コミュニティセンター ⇒ 松永地域振興課 (2階)
- *転入学事務 ⇒ 市民サービス課 (1階=5月中旬から)



西部市民センター まなびサロン5月

展示

「松永のクリークは花ざかり」

内容

花いっぱい季節がやって来ました。所せましと咲き誇る、松永のクリークの多彩な花々を写真展示します。

期間

4月29日(木)~5月16日(日)

場所

西部市民センター1階 エントランス

問合せ 松永地域振興課
電話 (084-934-5443)

柳津町の今昔誌を再刊

柳津学区が「古老の語る柳津今昔誌」を再刊しました。この冊子は、今から33年前に刊行したもので、当時の公民館運営委員長や公民館長が中心となり地域の高齢者から郷土の伝説や行事、生活の様子や子どもの遊びなどを聞き取ったものです。

再刊にあたったまちづくり推進委員会委員長の津田光之さんは、今日の人口減少や少子高齢化などから人間関係の希薄化を危惧。地元の歴史や文化などを大切にしてもらいたいと再刊を決めました。冊子は町内全戸や柳津小学校などに配布されました。



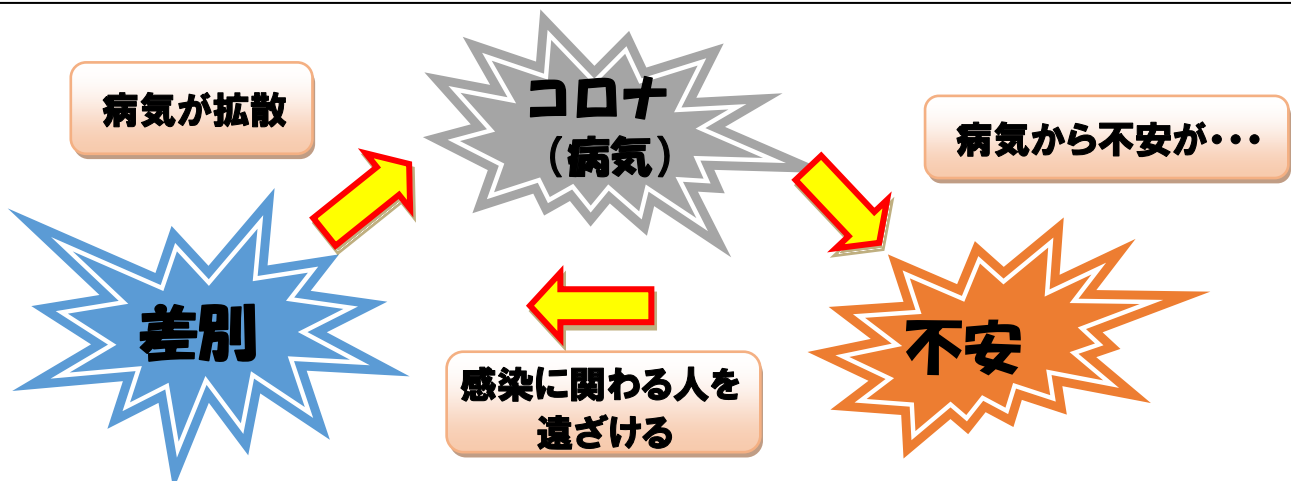
コロナ禍であるからこそ、 みんなで支え合い、助け合いましょう!!

新型コロナウイルス感染症において、変異株の感染拡大が全国的に拡がり、福山市においても変異株の新規感染者が出ています。一方で、感染への不安から駆られる過剰な思い込みなどによって、感染者に対しての差別や偏見、嫌がらせの事象も発生しています。

感染者は本来であれば被害者側の立場であるにもかかわらず、感染によって周囲から疎まれ、遠ざけられてしまうという真逆の立場となり、結果として本人やその家族に対する差別につながってしまうことが、社会問題となっています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの方が仕事や家庭などにおける環境の変化によって大きなストレスを抱えたり、人とのつながりが薄れ孤独を感じてしまうことによる「うつ病」患者が増加しています。また、経済状況の悪化によって、仕事の「解雇」や「雇い止め」にあう人を見込みも含め10万人を超えるということも大きな社会問題となっています。

私たち一人ひとりが、お互い達を守るために、感染防止策に取り組まなければなりません。同時に「みんなで支え合い、助け合う」という風土をしっかりと拓げていく必要があります。コロナ禍であるからこそ、この気持ちを大切にしながら、大変な状況は依然として続きますが、乗り越えていきましょう!!





情報びっくり箱

講座に参加する時は
マスクを着用してください



松永図書館 (933-3770)

<5月の行事>

☆春のまいにちのおはなし会

- 期 間 5月2日(日)~5月6日(木) 14時~14時15分
- ところ 松永図書館 おはなしのへや
- 内 容 絵本の読み聞かせなど



☆わくわくおはなし会

- と き 5月8日(土) 15時~15時40分
- ところ 松永図書館 集会室
- 内 容 大型絵本「はじめてのおつかい」の読み聞かせなど

☆あかちゃんといっしょのおはなし会

- と き 5月12日(水)及び13日(木) 11時~11時15分
- 内 容 乳幼児とその保護者を対象にしたおはなし会

※おはなし会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数制限する場合があります。

<<図書館のお休み>>

5月18日(火) 館内整理日



藤江公民館 (935-7401)

☆社会教育活動事業

~自分の身体を自分で整える~ 背骨コンディショニング

- と き 5月20日(木) 14時~15時30分
- ところ 藤江公民館 2階大会議室
- 内 容 講義と実技
- 対象者 成人一般



- 講 師 郷原 遥 さん
背骨コンディショニング協会
背骨コンディショニングインストラクター

- 定 員 8人
- 申込み 必要【5月18日(火)まで(先着順)】
- 持参物 飲み物
ヨガマット(無い場合はバスタオル2枚)
- その他 動きやすい服装でお越しください。
- 申込み・問合せ 藤江公民館へ

神村公民館 (933-2913)

☆社会教育活動事業(成人セミナー)

体のお話①足ゆびと呼吸でフレイル予防!

- と き 6月1日(火) 13時30分~15時
- ところ 神村公民館 会議室
- 内 容 講義と実技
- 対象者 成人一般
- 講 師 日高 知恵 さん(国際ヨガトレーナー)
- 定 員 12人
- 申込み 必要【5月21日(金)まで(先着順)】
- 持参物 5本指ソックス(無ければ素足でOK),
ヨガマット(無ければバスタオル), 飲み物



神村コミュニティセンター (934-3445)

☆人権啓発講座

ミュージック・ケア「みんなちがってみんないい」

- と き 5月1日(土) 10時~12時
- ところ 神村コミュニティセンター
- 内 容 保護者と子どもと一緒に楽しめる音楽療法
- 対象者 乳幼児と保護者
- 講 師 北川 宜子 さん
- 定 員 ミュージック・ケア 5組
個別相談 3組



- 申込み 必要
- 持参物 飲み物, タオル
- 問合せ・申込先 神村コミュニティセンターへ



柳津公民館 (933-4216)

☆いきいきまちづくり スマートフォン講座①

スマートフォン体験会

- と き 5月20日(木) 14時~15時
- ところ 柳津公民館 2階会議室
- 内 容 講義と実技
- 対象者 成人(一般)
- 講 師 アンデックスソリューション株式会社
ドコモショップ東尾道店
山本 彩嘉 さん 神崎 里絵 さん



- 定 員 10人
- 申込み 必要
- 持参物 お持ちのスマートフォン(貸出もできます。)
- 申込み・問合せ 柳津公民館へ

☆いきいきまちづくり 地域防災講座

地域における避難行動 要支援者の避難支援(柳津版)

- と き 5月20日(木) 14時~15時
- ところ 柳津公民館 2階会議室
- 内 容 講義と実技
- 対象者 成人(一般)
- 講 師 福山市保健福祉局福祉部福祉総務課
栗山 貴士 さん 豊田 美希 さん
- 定 員 25人
- 申込み 必要
- 申込み・問合せ 柳津公民館へ



☆神村学区まちづくり推進委員会 いきいき共学教室

糸かけまんだらのキーホルダーをつくろう。

- と き 5月26日(水) 13時30分~15時
- ところ 神村公民館 会議室
- 内 容 工作
- 対象者 成人一般
- 講 師 中本 敦子 さん
- 定 員 10人
- 申込み 必要【5月17日(月)まで(先着順)】
- 材料費 500円
- 申込み・問合せ 神村公民館へ



SDGs 17 の目標紹介

「SDGs」(エス ディージェズ)は、「Sustainable Development Goals」の頭文字で、「持続可能な開発のための目標」という意味です。国際連合が、全ての人々が幸福に暮らし続けるために提唱したもので、17の目標と169の具体的な行動の項目を定めています。「まなび」では17の目標を連載で紹介し、関連する記事に目標のアイコンとロゴを掲載しています。

13 気候変動に具体的な対策を

■気候変動の現状

気候変動の影響は、地球のどこに住んでいても逃れられません。これは、自然災害や食料の生産などと直結した身近な問題なのです。今すぐに対策を講じなければ、さらに悪化が進む「待ったなし」の状況です。

■必要な対策とは

- 石油など、化石燃料の消費を減らして温室効果ガスの排出を抑えること。
- 二酸化炭素を吸収する森林を保護すること。
- 森林の力を上回らない暮らし方や仕組みを作ること。
- 災害に強い街や人の関係を整えることなど。

13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



14 海の豊かさを守ろう

■海の現状

- 海洋汚染や水産資源の乱獲などは、長年に渡り指摘されてきた問題でした。しかし、様々な対策が遅れているのが現状です。
- プラスチックが微細なゴミになって海を漂う「マイクロプラスチック」の問題は、海洋生物に影響を与えており、世界中の課題になっています。

■海の豊かさを守るには

- 海に悪影響が及ぶ陸上の活動を改める必要があります。
- 海に続く川や湖沼や森を保護して海洋生物の生息環境を守る必要があります。
- 海洋生物や鉱物などの資源を保護して、持続可能な利用を促進することが大切です。

11 住み続けられるまちづくりを



SDGs

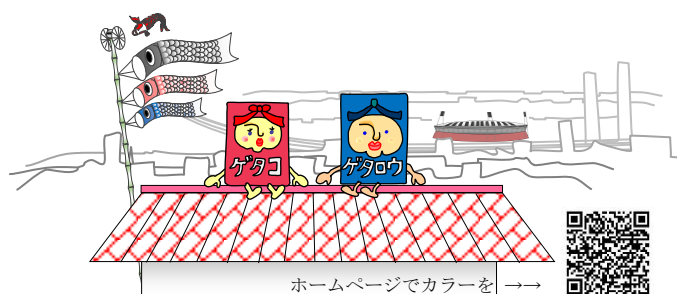
11 住み続けられるまちづくりを

ゲタなび

コロナ禍の影響で、人と会って話す機会が減ったという人も多いと思います。笑顔や笑い声は健康のために大切かと…。たまには、密を避けながら「マスクおしゃべり」を楽しみたいものです。

おしゃべりすれば、悩みを打ち明けることもあるでしょう。それは、決して他言しない信頼があったること。思えば、いつか聞いた誰かの噂話は打ち明けられた信頼を裏切る行為だったかも…。

噂は、時として人の人生を奪うことがあります。知っても噂しない意思が、おしゃべりの大切な



ホームページでカラーを →

エチケットだと思います。

広島県では、PCR検査を積極的に実施し、特に無症状の感染者をいち早く発見して、感染拡大の防止に努めています。この取組を成功させるには、大勢の理解と協力が必要です。

この障壁は「コロナ差別」。感染者への中傷は、検査拒否にもつながります。知っても噂せず、回復したら暖かく迎える姿勢が、全県民の命を守る力かと…。どうか、成功のためにエチケットを。